

令和8年度 上尾市立東町小学校 学校経営方針

コミュニティ・スクール
上尾市立東町小学校
校長 永井 基生

1 学校教育目標

「自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなたくましい^{あずま}東っ子」の育成

教育基本法を基本理念として「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を作る」という目標を学校・家庭・地域で共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を育む。様々な経験を通して、感動したり、友達と協力するよさに気付いたりすることで、人間性を豊かにすること、予測困難な時代の変化に積極的に向き合い、様々な人と協働して課題を解決しようとする粘り強さやたくましさを育成することを目指して、学校経営を推進する。

2 学校経営の基本方針

【ビジョン】

夢を育み 未来を創る 東町小学校 ～輝け!東っ子のやる気と笑顔 響け!東町ハーモニー～

(1) 輝け!東っ子の笑顔

- ・全児童が安心できる環境づくり
全児童に学級の居場所があり、笑顔で過ごせる温かい人間関係の構築に努める。
- ・児童が成長を実感できる声かけ
学習面、生活面において、優しさと厳しさのバランスを大切にし、児童のがんばりを認め、称賛する。
- ・児童が「わかった」「できた」と実感できる授業
「この1時間で児童に何が身に付いたのか」という視点のもと、見通しと振り返りのある授業、自ら学びたくなる授業、協働的な学び合いのある授業を実践する。

(2) 輝け!東っ子のやる気

- ・自己肯定感を高める学級経営
スモールステップで様々なことにチャレンジさせ成功を重ねることを通して、児童の自信につなげる。
- ・他者との協働のよさや必要性を実感させる教育活動
学級の仲間や異学年との活動を通して、協働することのよさを実感させる。

(3) 響け!東町ハーモニー

- ・学級の和
児童一人一人の個性がぶつかり合うのではなく、お互いを認め合って協力する学級をつくる。
- ・地域とのつながり
学校、家庭、地域が手と手を取り合い、児童が安心して生活できる環境をつくる。
- ・ハーモニー
学校から地域から歌声が響き、関わり合う全ての人の心が温かくなる学校をつくる。

3 目指す学校

(1) 目指す学校像

- ・一人一人の児童を大切にしてい伸ばす学校
- ・教職員が働きやすく働きがいのある学校
- ・地域に信頼され、地域とともにある学校
- ・安心・安全で美しい学校

(2) 目指す児童像

- ・進んで学びよく考える子（知）
- ・きまりを守り助け合う子（徳）
- ・最後まで頑張る子（知・体）
- ・明るい元気な子（体）

(3) 上尾中学校区の目指す児童・生徒像

- ・真剣に学習に取り組む子（知）
- ・自分の意見や考えを表現できる子（知）
- ・進んであいさつをする子（徳）
- ・自分や友達を大切にできる子（徳）
- ・健康でたくましい子（体）
- ・命を大切に子（体）

4 令和8年度の重点目標

(1) 確かな学力の育成

- ・教科指導の充実。教師は授業で勝負する。わかる・できる喜びを味わわせる授業。
（見通しと振り返りのある授業）（授業の流れが分かる板書）
（デジタルとアナログのベストミックス）
- ・指導力の向上。互いに授業を参観し合う。1人年2回以上の参観。
- ・学年内の教科担任制実施。教材研究の負担軽減。学年児童を学年職員で見届ける。
- ・小中一貫教育の推進…上尾中学校区での交流と連携、学びの系統性、連続性を意識したカリキュラム編成（柔軟な教育課程の編成）

(2) 規律ある態度の育成

- ・報告・連絡・相談・確認を徹底し、情報を止めない。（いじめの見逃しゼロ）
- ・初期対応に全力を尽くす。（早い行動が早い成果を生む。）
- ・積極的ないじめ認知を行う。認知は、誠実な対応の証と捉える。
- ・あいさつ・名札着用、清掃活動等、当たり前なことを当たり前に行わせる。
全ての児童に対して、全職員が同一指導を行う。見て見ぬふりはしない。

(3) 豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実
- ・芸術教育の充実（あずまっぴータイムの活用・校内放送の活用等）
- ・縦割り活動の充実（異学年交流・ありがとうカードの作成）
- ・読書活動の充実（R8年間貸し出し冊数目標：23,000冊）
- ・SSR・SRTの効果的な活用。児童の気持ちに寄り添い、個々に応じた温かい対応を行う。
- ・謙虚な気持ち、謙虚な態度
間違いは誰にでもあること。間違いがあれば、それを素直に認めしっかりと謝罪する。児童一人一人個性があり、誰にでも長所・短所があると受け止め、個々の能力を十分に把握する。また、その個性を認め、個に応じた指導を行う。

(4) 健やかな体の育成

- ・体育授業の充実（※本校の課題は、持久力と投力）東町小ビートアップで継続した体力向上
- ・外遊びの奨励（ロング昼休みなど、教師も積極的に外に出て、児童と一緒に外遊びを行う）

- ・長縄や縄跳び、持久走等、時期や実態に合わせた体育部の基礎体力プロジェクトの実施。

(5) 美しく整った環境

- ・学校、教室等の環境も教育の大きな要因と考え、児童と一緒に環境を整える。ゴミの無い、いつでも清潔な教室環境をつくる。
- ・日常の安全点検や清掃活動を充実させ、美しく安全な環境をつくる。
- ・机椅子の整頓、キレイな黒板、透き通った窓ガラス（教室・廊下）、季節感のある掲示物。
- ・授業の終わりに、次の時間の準備を促す。毎時間怠らないことで、児童自ら意欲をもって学習することを意識できるように躡ける。
- ・授業の始まりと終わりのあいさつを正しい姿勢、適切な声の大きさとで行う。本校は、児童にあいさつが習慣付くように、まずは教職員が範を示し、自ら進んで気持ちのよいあいさつを行う。教員相互のあいさつで範を示す。【年間目標「進んであいさつをしよう」】

・時と場に応じた言葉遣い

児童にとって教師は最大の教育環境である。教師の発する言葉には重みがある。そのことを常に意識し、児童に対しても人権を尊重し、正しい言葉遣い、丁寧な言葉遣いをする。（保護者及び同僚、来校者等も同様）また、暴言も体罰であることを強く認識して、言葉を発する。（児童を「～さん」と呼ぶ←職員室でも）

・時と場に応じたふさわしい身だしなみや服装

華やかな服装、装飾等はしない。教育公務員として信頼されることが大切。

(6) 高い倫理観と規範意識の醸成（自主・自立・自制）絶対に教職員事故を起こさない。

- ・出張、休暇等は、校長に事前に申し出て承認を得る。
- ・交通ルールの遵守。通勤時は、時間に余裕をもち、安全に運転する。
- ・飲酒運転は、厳禁。「飲んだら乗るな、飲むなら乗るな」
- ・礼節を重んじる…出退勤時のあいさつ、廊下ですれ違う時の会釈「笑顔を忘れずに！」

(7) 働き方改革（子供・職員がWIN・WINとなる改革）教師だけがWINは、NG

- ・会議、行事等の見直し。まずは、教師側の努力・工夫・改善を行う。職員会議等では、各行事や計画、内容がねらいに即して適切か否かを判断する。

(8) 時を守る

- ・授業開始・終了時刻を守る（チャイムで始まりチャイムで終わる）

教師が時間を守ってこそ時間を守る児童が育つ。児童に時間の意識をもたせるとともに、学習時間を保証する。授業開始2分前には教室に行き、児童の様子を見ながら開始時刻を待つ。

また、45分間でねらいに即した授業が展開できるよう、見通しをもちながら学習を計画し、実施する。